

令和7年度とやま型学校評価システム推進事業計画書

学校名 朝日町立さみさと小学校

令和7年度 さみさと小学校アクションプラン —1—	
重点項目	学習指導
重点課題	基礎・基本の確実な定着
現 状	<p>令和6年度の全国学力・学習状況調査結果から、国語では、物語文を読んで条件に沿って自分の考えをまとめて書くこと、算数では、図形を構成する要素に着目して図形の体積の求め方を理解し正しく解くことに課題があることが明らかになった。さらに、3年間継続して行っている自主的な家庭学習の趣旨が児童や保護者に浸透しつつある。</p> <p>今年度は、学ぶことに興味・関心をもち、粘り強く取り組む子供の育成を目指し、子供たちの主体的な学びを通じた、確かな学力の向上を図る。</p> <p>基礎・基本の確実な定着に向けて、学習意欲の向上を図り、子供が学ぶ喜びを味わうことができる授業改善を行う。また、個別最適な学びを進め、「できる」「分かる」を実感しながら意欲的に学習に取り組むことができるようにしたい。</p>
達成目標	児童及び保護者の自己評価… A、B 評価が 80% 以上とする。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ○「あさひスタンダード」を基に、学びを支える学習規律の徹底に努める。また、「あさひ学び合いスタイル」を基に、子供たちの学び合いを大切にしたい授業改善を図る。 ○朝の活動において「10 分間学習」に取り組む。曜日ごとに学習活動を決め、「朝の読書」「ドリルタイム」「読み聞かせ」「トークタイム」に取り組む。ドリルタイムでは、漢字、計算等の基礎、基本を反復し定着を図る。 ○個別最適な学びや協働的な学びを通して、子供が「分かった」「できた」と実感できる授業を行う。 ○小中学校で取り組んでいる「進んで学ぶさみっ子家庭学習カードの取組」において、児童が自分の家庭学習の実態から達成できそうな目当てをたて、達成したり(自己調整)、振り返りを次の家庭学習に生かしたり(PDC A サイクル)できるようにする。家庭学習の自主学習では、A I 学習ドリル(キュービナ)も主体的に行う機会を引き続き設ける。
外部評価者	保護者、学校運営協議会委員
公開の方法	学校からのたより、ホームページ (web サイト)

(評価基準 A : 達成した B : ほぼ達成した C : 現状維持 D : 現状より悪化)

令和7年度 さみさと小学校アクションプラン —2—	
重点項目	生徒指導
重点課題	思いやりの心をもち、進んで挨拶をする子供の育成
現 状	<p>朝日町では、学校、PTA、地域が連携して挨拶運動の推進に積極的に取り組んできた。(また、各校でも委員会活動を中心に挨拶運動や思いやりのある言動を推進する活動を行ってきた。)しかし、自ら進んで誰にでも挨拶することや分け隔てなく温かい言動をすることについては、粘り強く指導していく必要がある。</p> <p>子供たちの相互交流による人間関係づくりには、挨拶は欠かせないものであり、挨拶を通して温かい人間関係づくりを推進し、思いやりの心を育てたい。</p>
達成目標	子供及び保護者の評価… A、B 評価が 80% 以上とする。

方 策	<p>○運営委員会が中心となって、学校の特色を生かした挨拶運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の必要性について、発達段階に応じて各学級で話し合う。 ・運営委員会が中心となり、全校の子供たちが参加することができる活動を企画する。 ・挨拶の種類（挨拶言葉）の掲示と呼びかけを行う。 <p>○子供が相互に好ましい人間関係を育むことができるよう、教師と児童の信頼関係及び児童相互の関係づくりを中心に考えた触れ合いの場を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かい人間関係づくりを行うことができるような学級活動や縦割り班活動を定期的に設ける。 ・言葉遣いについて考えたり、温かい言葉遣いを行ったりすることで、よりよい関わりができるようにする。
外部評価者	保護者、学校運営協議会委員
公開の方法	学校からのたより、ホームページ（web サイト）

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪化）

令和7年度 さみさと小学校アクションプラン — 3 —	
重点項目	健康・安全指導
重点課題	基本的な生活習慣の定着
現 状	<p>長時間の動画視聴やゲームが原因で就寝時刻が遅くなり、朝起きられない児童が目立つ。昨年度の児童及び保護者の自己評価では、就寝・起床時刻が遅い傾向があることやメディアルールを守ることにに関して、児童・保護者間に大きな差があることが分かった。これらのことから、メディアの使用と関わり、生活リズムが不規則になっていることが考えられる。</p> <p>そこで、今年度はメディア利用と生活習慣の関連について考える場を設け、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣の定着を図りたい。</p>
達成目標	児童及び保護者の自己評価で、A、B評価の合計が各項目70%以上とする。
方 策	<p>○学校だよりや保健だより、給食だより、ホームページ等で、健康に関することを定期的に発信する。</p> <p>○家庭でのメディアルールを親子間で共通理解や確認ができるようメディアルールカードを定期的に発行する。</p> <p>○保健委員会や給食委員会の活動を通して、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）を確立することで得られる利点を全校児童に発信する。</p> <p>○とやまゲンキッズ作戦等の健康調査で、自分の生活を振り返る機会を設ける。</p> <p>○学習参観や学校保健委員会で、メディア利用や生活習慣に関することに触れ、基本的な生活習慣の定着を図る。</p> <p>○家庭での早寝・早起きにつながるよう、学校で体を動かすことを推奨する。</p>
外部評価者	保護者、学校運営協議会委員
公開の方法	学校からのたより、ホームページ（web サイト）

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪化）